

海岸清掃事業マニュアル【概要版】

1. 目的

各地域において海岸清掃を進めるためには、それぞれの地域特性を踏まえ、漂着ごみの回収方法、回収した漂着ごみの適正な処理方法等について検討することが必要である。このため、平成19～22年度に実施した漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査等で得られた知見を整理し、海岸清掃を企画する海岸管理者等の行政機関が容易に適切な手法を用いて海岸清掃を進めていくことができるよう、効果的な海岸清掃方法をマニュアルとしてとりまとめた。

2. 対象範囲と構成

本マニュアルは、行政機関により海岸清掃等事業として企画・実施される海岸清掃を対象としている。また、本マニュアルは本編及び資料編からなり、それぞれの内容は以下の通りである。本マニュアルの構成を図 1に示す。

【本編】

海岸管理者等が事業として海岸清掃を実施するために必要な準備、実際の清掃作業及び清掃作業終了後の事後作業について、技術的事項と費用の積算方法等についてとりまとめた。

【資料編】

事業として海岸清掃を行う海岸管理者等の参考となるように、海岸清掃事業の実例について、清掃対象の海岸の特性、漂着ごみの種類、採用した回収・搬出の方法等を中心にとりまとめた。

<本編>

1.総論	(内容)
1.1 目的 1.2 対象範囲と構成 1.3 海岸清掃を計画する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な海岸清掃の実施を支援 ●行政機関による海岸清掃事業を対象
2.現状の把握	
2.1 漂着ごみの状況把握 2.2 漂着ごみ量の季節変化の把握 2.3 関係機関との調整・連携	<ul style="list-style-type: none"> ●地域計画を踏まえた海岸清掃計画 ●漂着ごみの質、量、分布の把握 ●効果的な清掃時期や頻度の検討 ●廃棄物部局、地域住民等との調整
3.設計	
3.1 回収・搬出計画 3.2 廃棄物処理法に基づく収集・運搬、処分計画 3.3 経費の積算 3.4 作業員の募集 3.5 作業工程の立案	<ul style="list-style-type: none"> ●回収・搬出方法の検討 ●回収物の処分先の検討 ●必要な人員数・重機数の検討 ●作業員の募集方法の検討 ●安全作業上の配慮事項の検討
4.実施	
4.1 清掃作業の運営 4.2 作業責任者の配慮事項 4.3 現地での記録事項	<ul style="list-style-type: none"> ●役割分担の検討 ●作業の安全管理 ●記録事項の検討
5.事後・フォローアップ	
5.1 清掃作業結果の整理 5.2 海岸清掃方法の見直し 5.3 清掃作業参加者への配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ●作業を踏まえた、清掃方法の見直し ●作業員に対する結果報告とお礼

<資料編>

I. 海岸清掃の実例(第1期モデル調査)
II. 海岸清掃の実例(第2期モデル調査)
III. 海岸清掃の実例(クリーンアップ事業)

図 1 海岸清掃事業マニュアルの構成

3. 本マニュアルの見方

海岸清掃を行う際の時系列に従って、海岸清掃を企画する際の作業の流れと本マニュアルの参照箇所を図 2に示す。

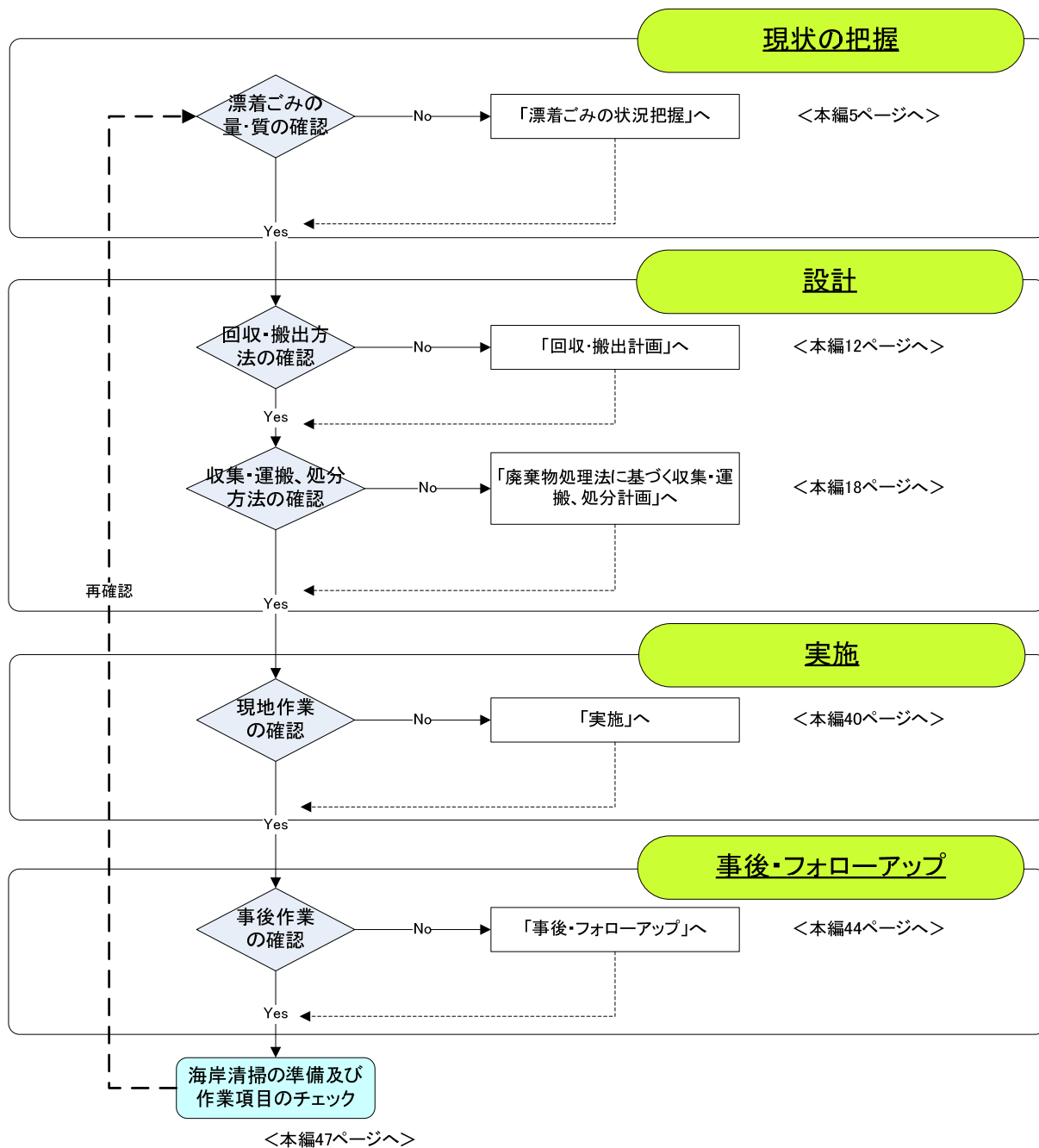


図 2 海岸清掃事業マニュアルの見方